



No. 42

1991. 6. 11

佐賀大学情報処理センター

内線 (2592)

1. エミュレータのハードディスクからの利用について
2. PC9801Fでの学内LANの利用について
3. 東芝J3100パソコンの学内LANの利用について

1. エミュレータのハードディスクからの利用について

センターが提供しているエミュレータ (CEO CONNECTION) のハードディスクからの利用方法を紹介します。

(1) エミュレータファイルのハードディスクへのコピー

ハードディスクでパソコンを立ち上げたら、エミュレータ・ソフトを登録するためのディレクトリを作成します。

例えば、CEOというディレクトリを作成する場合は、次のようにコマンドを入力します。

A: ¥> MD CEO

次に、エミュレータディスクをフロッピーディスク (Bドライブ) にセットします。

エミュレータ・ソフトをディレクトリ: CEOにコピーする場合は、次のようにコマンドを入力します。

A: ¥> COPY B:*. * ¥CEO

(2) エミュレータの起動バッチファイルの作成

エミュレータ・ソフトがCEOというディレクトリに保存されている場合の、エミュレータを起動させるためのバッチファイルの内容は下記ようになります。

```
ECHO OFF
PROMPT $_$$_CEO MSDOS$G
CLS
CD CEO
CEO_MENU.EXE A:¥CEO¥ CENTER
ECHO OFF
PROMPT $_$$_$G
CD ¥
```

上記内容のバッチファイル (CEO. BAT) を、MIFES等のエディタを使ってディレクトリ : BATに作成してください。

2. PC9801Fでの学内LANの利用について

センターが提供しているエミュレータ (CEO CONNECTION) のバージョンは、V. 3. 3ですが、PC9801Fでは、このバージョンのエミュレータは利用できません。

PC9801Fを学内LANで利用できるエミュレータのバージョンは、V. 1. 5のエミュレータです。

V. 1. 5のエミュレータが必要な方は、センターにご連絡ください。

3. 東芝J3100パソコンの学内LANの利用について

センターでは、東芝J3100シリーズパソコンの学内LANの利用に対応するため、あらたにJ3100用のエミュレータ (CEO CONNECTION) を準備しました。

J3100用エミュレータが対応している機種は、以下のとおりです。

J3100SS-Dynabook, J3100GS-Dynabook286, J3100GT, J3100GL, J3100GX, J3100SL,
J3100SGT, J3100SGX